

開講科目名 / Course	成人看護学演習	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	古賀 雄二	
担当教員名 / Instructor	森 加苗愛、佐藤 栄治、古賀 雄二、岩下 恵子、井上 陽士	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
授業回数	15	
科目の目的と概要	急性期から回復期の健康問題をもつ成人を対象（紙上事例）として、アセスメント、健康問題の抽出、個別性と予測性をもって合併症予防と生活の再構築につながる看護計画を立案し、看護実践を評価し、計画の修正を行う看護過程の展開を習得する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 急性期・回復期の紙上成人事例患者の情報を収集・分析し、看護問題を明らかにすることができる。 急性期・回復期にある患者の看護問題を解決するための援助計画が立案できる。 急性期・回復期にある患者への合併症予防の視点で看護援助の実施と評価ができる。 急性期・回復期にある患者へ行った看護援助の評価に基づいて援助計画の修正ができる。 グループワークで自己の考えを説明できる。 グループワークで自己の考えを基に議論することができる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、6.探求心と創造力	
授業計画	01. ガイダンス、事例展開 : 事例紹介と情報収集 02. 看護実践演習 : 術後全身評価 03-05. 事例展開 : 情報収集、情報の整理、解釈、分析 06. 事例展開 : 情報の整理、解釈、分析（学生カンファレンス） 07. 事例展開 : 情報の整理、解釈、分析について全体に共通する課題やポイントの解説 08. 事例展開 : 統合、看護計画の立案（学生カンファレンス） 09. 事例展開 : 統合、看護計画の立案について全体に共通する課題やポイントの解説、サマリー記載方法オリエンテーション 10-11. 看護実践演習 : ストーマ管理、看護実践演習 : 気管吸引 12-14. 事例展開 : 看護計画の修正、サマリーについて全体に共通する課題やポイントの解説 15. 事例展開 : サマリー作成、まとめ・記録最終提出	
その他の授業の工夫	臨地実習（成人看護学実習）を想定した事例を用いた看護展開を行います。臨床現場の状況に近い模擬電子カルテからの情報収集や、動画教材により事例の具体的な理解を深めます。事例の展開にあわせて関連する看護技術演習を行い、事例への理解と看護計画の具体化を促します。また、臨地実習を想定した学生カンファレンスを行い、カンファレンステーマの抽出方法、カンファレンスの進め方についても理解を深め、看護チームとして臨床課題に取り組む姿勢を養います。	
時間外学修	事前学修：次回の学習内容について配布資料や教科書を用いて予習する（15h）。 事後学修：配布資料を用いて復習する（15h）。	
評価方法と評価割合	レポート：50%、小レポート：50%	
テキスト	成人看護援助論、で使用するテキスト	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	必要に応じ、ハンドアウトを提示する。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	古賀雄二：病院の看護師 森加苗愛：病院の看護師 佐藤栄治：病院の看護師 岩下恵子：病院の看護師 井上陽士：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	対象者への看護実践の経験を活かし、学生の興味関心が高まるように看護と関連づけた説明を行う。	